

ふたばっこだよい

2023年2月20日
No.20

17日に、「スエTの科学の時間」がありました！

～数字の不思議・トランプでできる手品～

今月のスエTはトランプを持って現れました。そして、伏せたカードの数字を当てる手品を見せてくださいました。



トランプを1枚ずつ並べます



ジョーカーを除くと52枚あります



タネを仕掛けたカードの山をつくります



そのうち3つの山を選びます



うち2つの山の1番上のカードをめくります



残りのカードを数えます



残ったカードは“8”です



わっ！ほんまや～!!



タネの説明を受けました



2人1組で手品師とお客さんの役になって交替で体験もしました

この手品の仕組みは、ハート・スペード・ダイヤ・クラブの4種類のカードが13枚ずつあるので、作ったカードの山の下に何枚カードを仕込んでおくかで、山の一番上のカードが何なのかが分かる仕掛けになっています。

たとえば一番上のカードが8の時は、13から8を引いた残りの5枚を入れておきます。(Aの山)

9の時は、13から9を引いた残りの4枚をいれておきます。(Bの山)

2の時は、13から2を引いた残りの11枚をいれておきます。(Cの山)

3つの山のうちBの山・Cの山をオープンして、9枚(Bの山の一番上のカードの数字と同じ枚数) + 2枚(Cの山の一番上のカードと同じ数字と同じ枚数) + 10枚を引くと残りのカードの枚数が最後に残った山の一番上にあるカードの数字になります。

タネあかしをされて、おとなでもちょっとやさそとでは分かりにくかったですが、上の説明でもわかりにくい方は、末広先生に聞いてみてください。(この紙面は奥村が担当していますが、うまく説明ができません…)

子どもたちは自分たちでも体験してみて、成功すると「お～っ!!」と歓声をあげていました。

末広先生は、トランプを5組用意してくださって、ひとつのマークに13枚のカードがあることと、山を作る時の仕掛けを丁寧に説明してくださいました。また、全員が1回は体験できるように配慮してくださいました。

そして、「実は小学校で算数を習うと(こんな手品ができる理由が)わかるんだよ」と教えてくださいました。算数の勉強もトランプで遊びながらできると楽しいですね。オトナにとっても不思議でトキメキのある時間でした。



**ふたばっこだよいのバックナンバーを
カラーで読むことができます**

右のQRコードを読み取るとふたば園のホームページに入れます

